

ハニーダックス工業型 〈ハニカム式脱臭装置〉

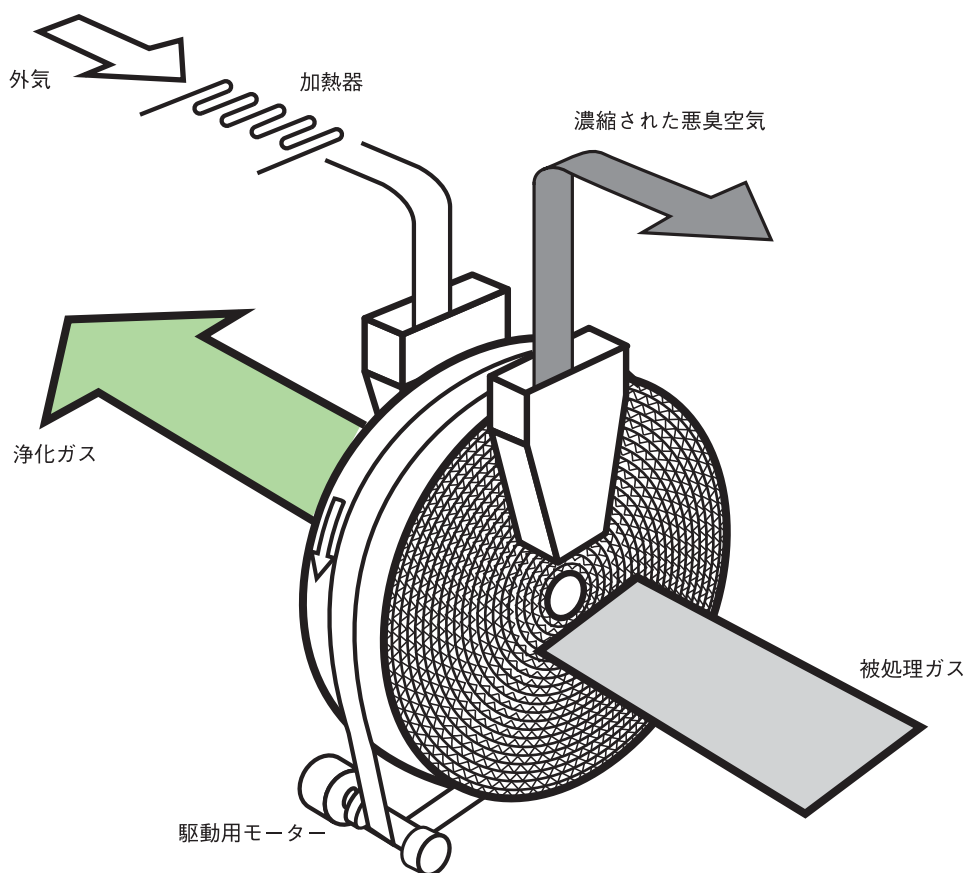
特 長

- 低濃度の排ガスから、有機溶剤を効率よく分離濃縮。
- 脱臭効率がが高く、安定した浄化空気が得られる。
- ランニング費が安価。
- 後処理として触媒酸化装置（キャタダックス）や既設燃焼炉と組み合わせずことで、「直接燃焼」させる方法に比べ、処理するための燃料が大巾に低減する。同時に排熱も再使用できる。

装置の概要

ハニーダックスは、微粒状の活性炭又はゼオライトを特殊成型したハニカム状ローターを使用。低濃度の有害ガス・悪臭も効率よく吸着し、少量の再生用熱風と共に濃縮して排出します。しかもローターを回転させることで、連続的に行えるようになっています。駆動部は、ファンと脱臭ローターの駆動モーターだけです。

〔概略図〕



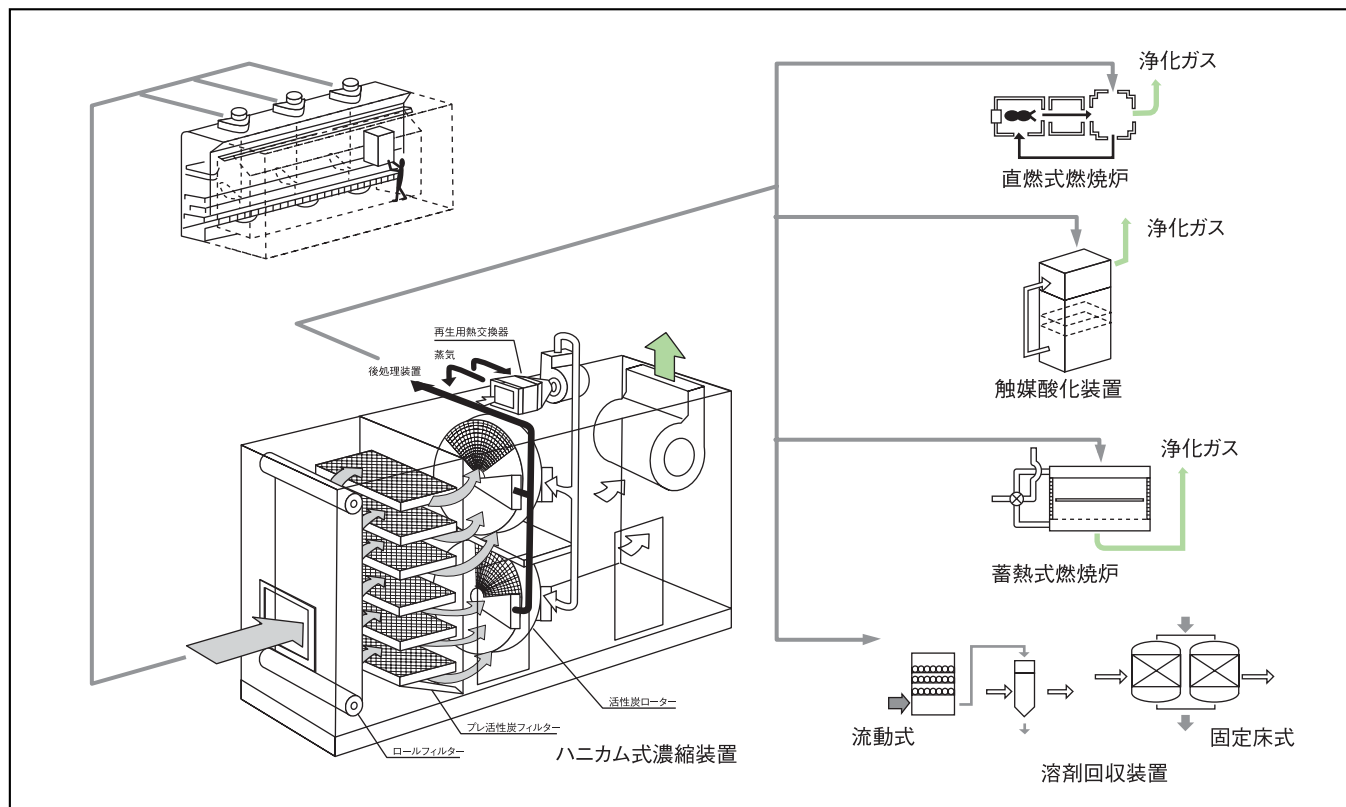
● 活性炭ローターとゼオライトローターとの比較

		活性炭ローター	ゼオライトローター
原 料		微粒活性炭	疎水性ゼオライト
安 全 性		可燃性	難燃性
用 途		吸着性能が高く、一般溶剤用として使用します。	酸化分解し易い高分子量ケトン系溶剤が含まれる場合にも使用します。
運 転 条 件	入 口 温 度	40℃以下	40℃以下
	再 生 温 度	110℃～130℃	160℃～190℃
	最高使用温度	140℃	200℃

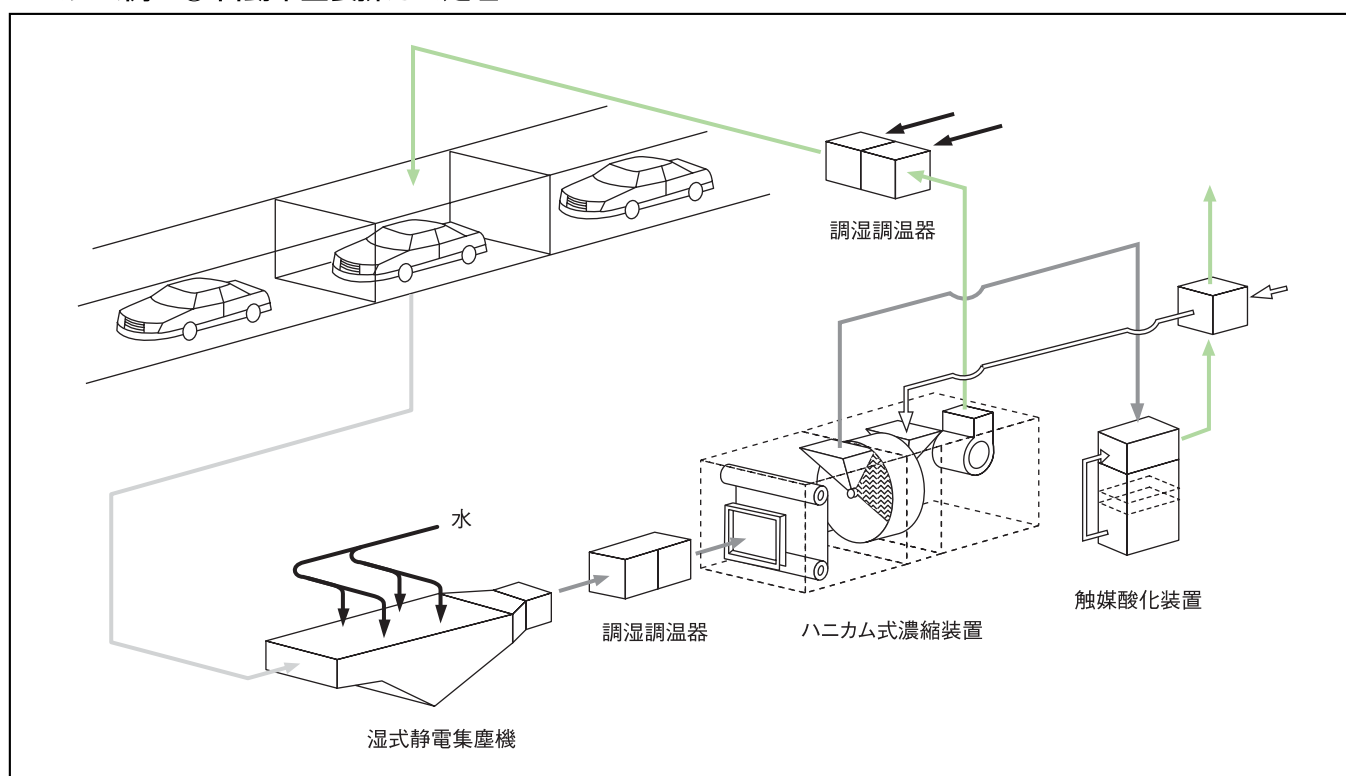
低濃度の悪臭空気を分離・濃縮。溶剤処理コストを低減。

低濃度の有機溶剤を含む排ガスの処理は難しいとされてきました。しかし、ハニーダックスは大量の排ガスから悪臭のもとになっている低濃度の有機溶剤を、効率よく分離し、濃縮。経済的な処理を可能としました。

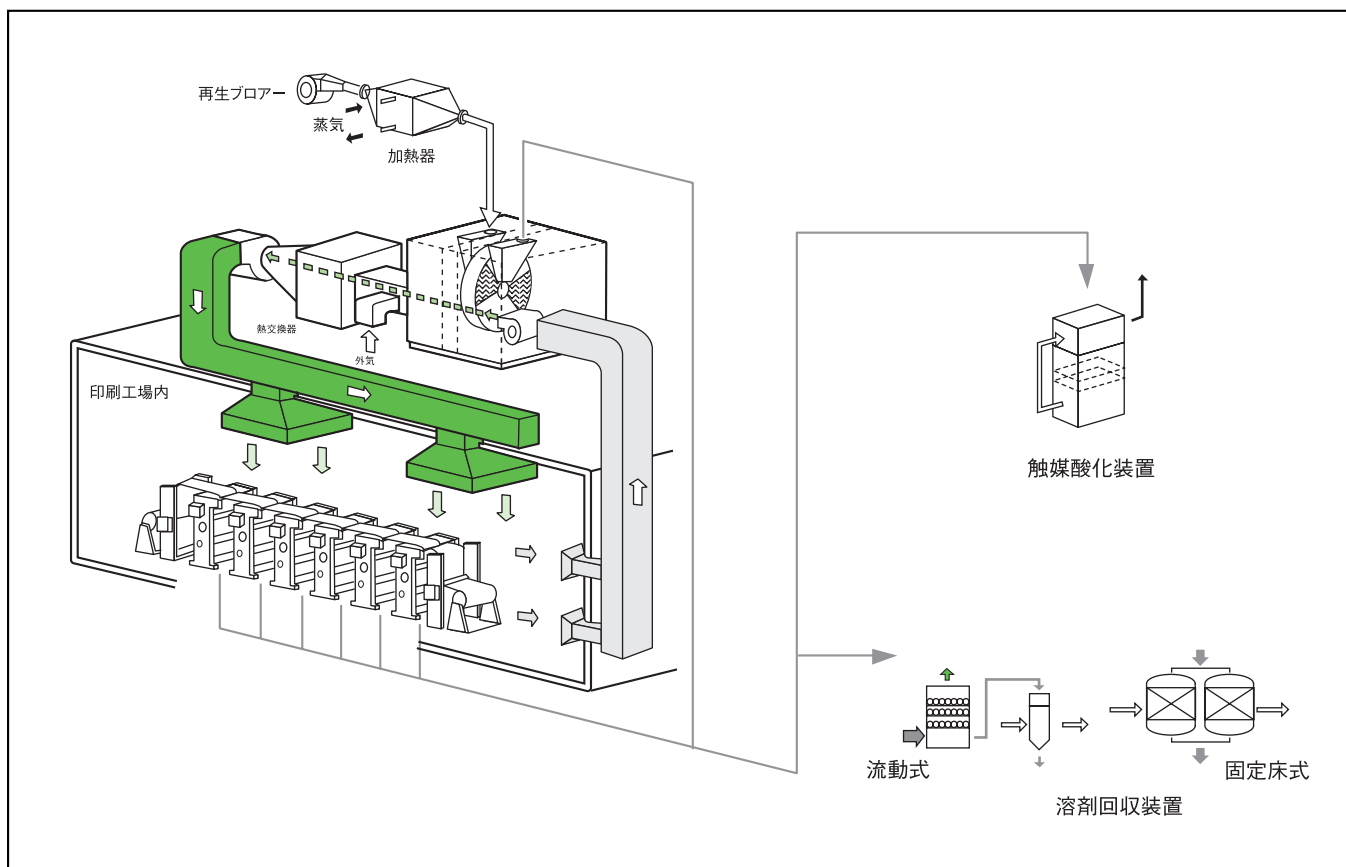
基本システム



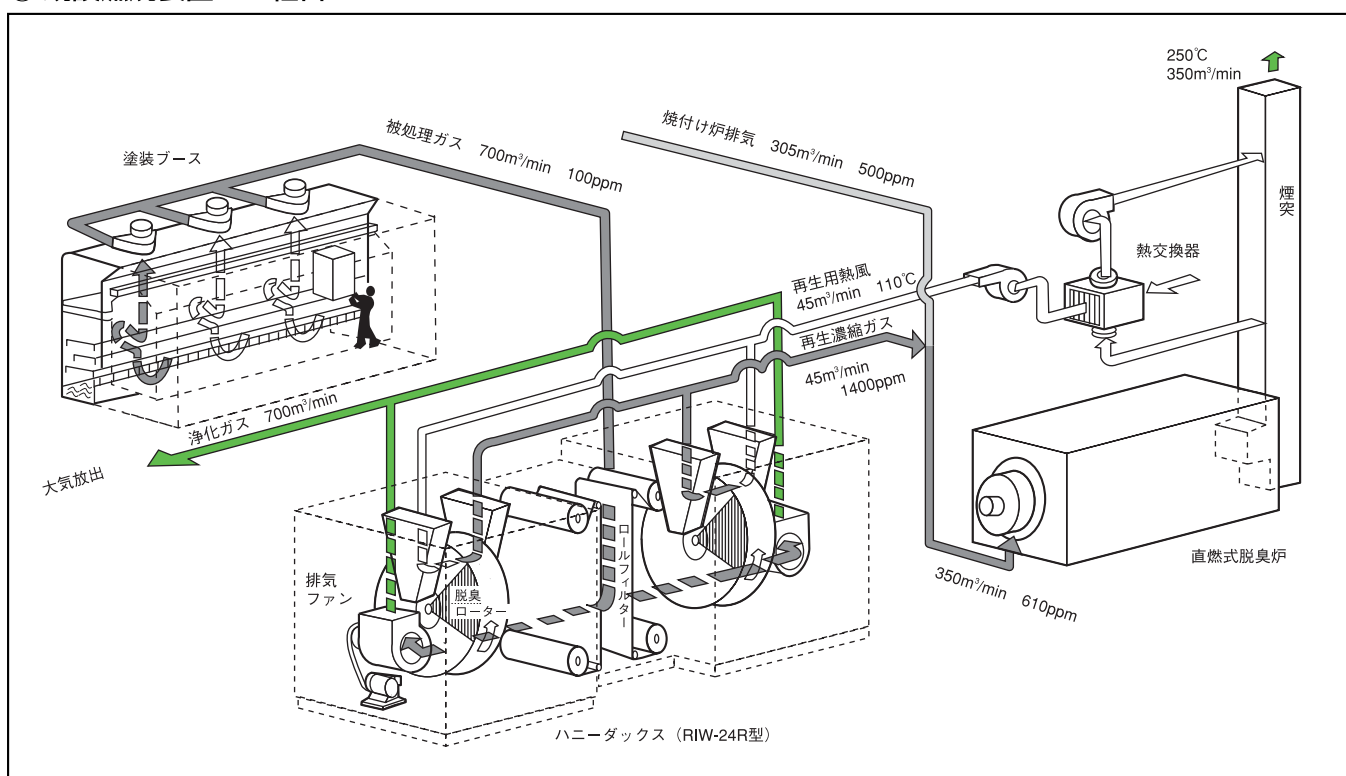
システム例 ① 自動車塗装排ガス処理



② 印刷工場排ガス処理

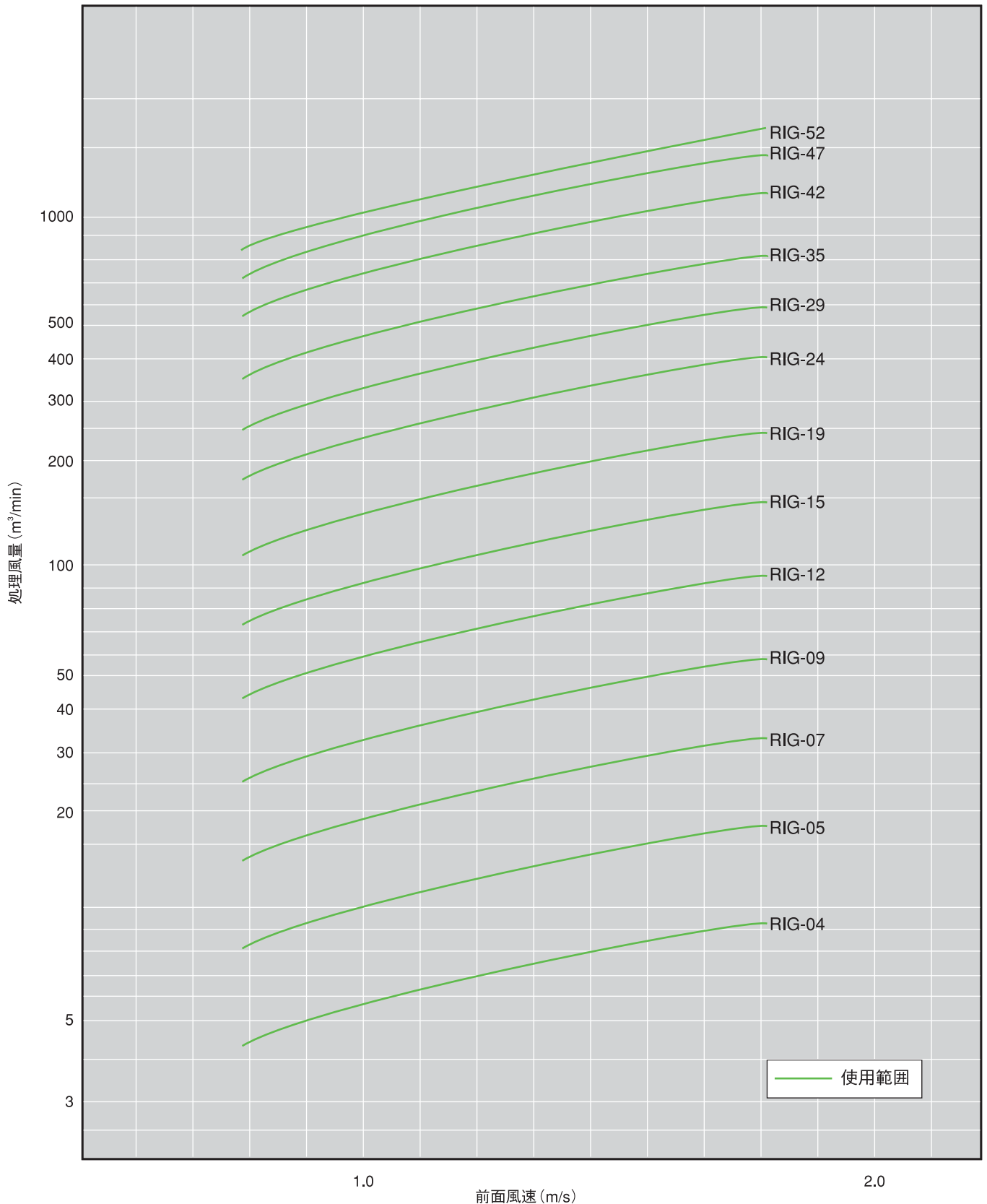


③ 既設燃焼装置との組合せ



ハニーダックス工業型機種選定表 (活性炭ローターの場合)

〈濃縮倍率 (CR), $10 \leq CR \leq 15$ 〉



注) ゼオライトローターの場合はご相談下さい。

ハニーダックス工業型標準仕様

(活性炭ローターの場合)

標準仕様

項 目		RIG-07			RIG-09			RIG-12			RIG-15			RIG-19			RIG-24			RIG-29		
濃縮倍率〔倍〕		15～10	10～7	7～4	15～10	10～7	7～4	15～10	10～7	7～4	15～10	10～7	7～4	15～10	10～7	7～4	15～10	10～7	7～4	15～10	10～7	7～4
処理風量範囲〔m³/min〕		32～14	31～14	29～13	56～25	53～24	49～22	95～42	89～40	83～37	155～68	145～64	135～60	246～110	230～102	215～95	402～178	376～167	351～156	553～246	518～230	484～215
再生風量〔m³/min〕		※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)
冷却風量〔m³/min〕		※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)
ローター前面 面積〔㎡〕	処理側〔㎡〕	0.3022	0.2833	0.2644	0.519	0.487	0.454	0.88	0.825	0.77	1.431	1.342	1.252	2.28	2.13	1.99	3.72	3.48	3.25	5.12	4.8	4.48
	再生側〔㎡〕	0.0283	0.0425	0.0567	0.049	0.073	0.097	0.83	0.124	0.165	0.134	0.201	0.268	0.21	0.32	0.43	0.35	0.52	0.7	0.48	0.72	0.96
	冷却側〔㎡〕	0.0094	0.0142	0.0189	0.016	0.024	0.032	0.027	0.041	0.055	0.045	0.067	0.089	0.07	0.11	0.14	0.12	0.17	0.23	0.16	0.24	0.32
ローター厚さ〔mm〕		450			450			450			450			450			450			450		
ローター駆動モーター〔kW〕		0.060			0.09			0.2			0.2			0.2			0.2			0.2		
※3 装 置 寸 法	L〔mm〕	2600			2700			2950			3400			3820			4320			4520		
	W〔mm〕	1000			1250			1600			1900			2300			2800			3250		
	H〔mm〕	1000			1250			1600			1900			2300			2800			3250		
	h〔mm〕	100			100			100			100			100			125			150		
質 量〔kg〕		800			1100			1600			2000			3700			4900			8500		
活性炭量〔kg〕		11.7			18.8			35.2			56.2			87.5			143.5			212		
※4 ユーティリティー（最大処理風量、最小濃縮倍率の場合で、ユーティリティーは各設備の最大値となっています。）																						
電 気	設備容量〔kW〕	2.2	2.2	2.2	3.3	3.3	3.3	4.9	4.9	5.8	6.9	7.6	8.5	9.6	10.7	10.7	17.5	18.2	16.0	21.7	22.0	20.4
	使用量〔kW〕	1.8	1.8	1.8	2.6	2.6	2.6	4.0	4.0	4.7	5.4	5.7	6.3	8.5	8.9	8.5	13.1	12.9	13.7	17.8	17.1	17.7
蒸気〔kg/h〕		12.0	16.4	27.2	20.8	28.2	45.8	35.4	47.2	77.4	57.6	77.0	125.8	91.6	122.4	200	150	200	330	210	280	460

		RIG-35			RIG-42			RIG-47			RIG-52			RIW-24 _() 外：横型 ()内：縦型			RIW-29 _() 外：横型 ()内：縦型		
濃縮倍率〔倍〕		15～10	10～7	7～4	15～10	10～7	7～4	15～10	10～7	7～4	15～10	10～7	7～4	15～10	10～7	7～4	15～10	10～7	7～4
処理風量範囲〔m³/min〕		782～ 347	732～ 325	684～ 304	1161～ 516	1089～ 484	1016～ 452	1482～ 658	1390～ 617	1297～ 576	1774～ 789	1663～ 740	1552～ 690	804～ 356	752～ 334	702～ 312	1106～ 492	1036～ 460	968～ 430
再生風量〔m³/min〕		※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)	※1)
冷却風量〔m³/min〕		※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)	※2)
ローター前面 面面積〔㎡〕	処理側〔㎡〕	7.24	6.78	6.33	10.75	10.08	9.41	13.72	12.87	12.01	16.43	15.4	14.37	7.44	6.96	6.5	10.24	9.6	8.96
	再生側〔㎡〕	0.68	1.02	1.36	1.01	1.51	2.02	1.29	1.93	2.57	1.54	2.31	3.08	0.7	1.04	1.4	0.96	1.44	1.92
	冷却側〔㎡〕	0.23	0.34	0.45	0.34	0.5	0.67	0.43	0.64	0.86	0.51	0.77	1.03	0.24	0.34	0.46	0.32	0.48	0.64
ローター厚さ〔mm〕		450			450			450			450			450×2			450×2		
ローター駆動モーター〔kW〕		0.2			0.2			0.2			0.2			0.2×2			0.2×2		
※3 装 置 寸 法	L〔mm〕	9000			9800			10060			11400			9240(5100)			9240(5100)		
	W〔mm〕	4000			4950			5300			5800			2800(2800)			3250(3250)		
	H〔mm〕	4000			4700			5300			5800			2800(5600)			3250(6500)		
	h〔mm〕	150			150			150			150			125(200)			150(200)		
質 量〔kg〕		10000			16500			23000			30000			80000			14000		
活性炭量〔kg〕		312			452			566			693			287			424		
※4 ユーティリティー（最大処理風量、最小濃縮倍率の場合で、ユーティリティーは各設備の最大値となっています。）																			
電 気	設備容量〔kW〕	27.0	27.2	29.0	42.4	44.2	46.9	52.2	54.9	51.9	62.2	64.9	63.9	RIG-24の2倍			RIG-29の2倍		
	使用量〔kW〕	25.6	24.6	24.6	36.7	35.8	37.0	46.4	45.8	47.9	55.3	54.5	56.7						
蒸気〔kg/h〕		300	400	640	440	590	950	560	750	1210	660	890	1450						

- Note** ※1) (再生風量) = (処理風量) / (濃縮倍率)
 ※2) (冷却風量) = 1/3 × (再生風量)
 ※3) 寸法のL、W、H、hは下図を参照下さい。
 ※4) 処理ファン、再生ファン、冷却ファン、ローター駆動モーター及び再生用蒸気ヒーターを装備した場合。

